

平成25年11月11日  
株式会社 七十七銀行

「東北6次産業化ブリッジファンド」における第1号出資の決定について  
～農林漁業成長産業化ファンドの東北地方第1号案件～

株式会社七十七銀行（頭取 氏家 照彦）と株式会社農林漁業成長産業化支援機構（代表取締役 大多和 巖）が共同出資し、山田ビジネスコンサルティング株式会社（代表取締役 増田 慶作）が運営する「東北6次産業化ブリッジファンド」は、e-フレッシュ株式会社（仙台市若林区、代表取締役 菊地 由次）に対して1億円の出資を行うことを決定しましたので、下記のとおりお知らせします。

本件は、全国で設立されている農林漁業成長産業化ファンドにおいて、東北地方では第1号、全国では第5号の案件になります。

当行では、地域の6次産業化を支援するため、本ファンドの活用を含め、積極的な取り組みを行ってまいります。

記

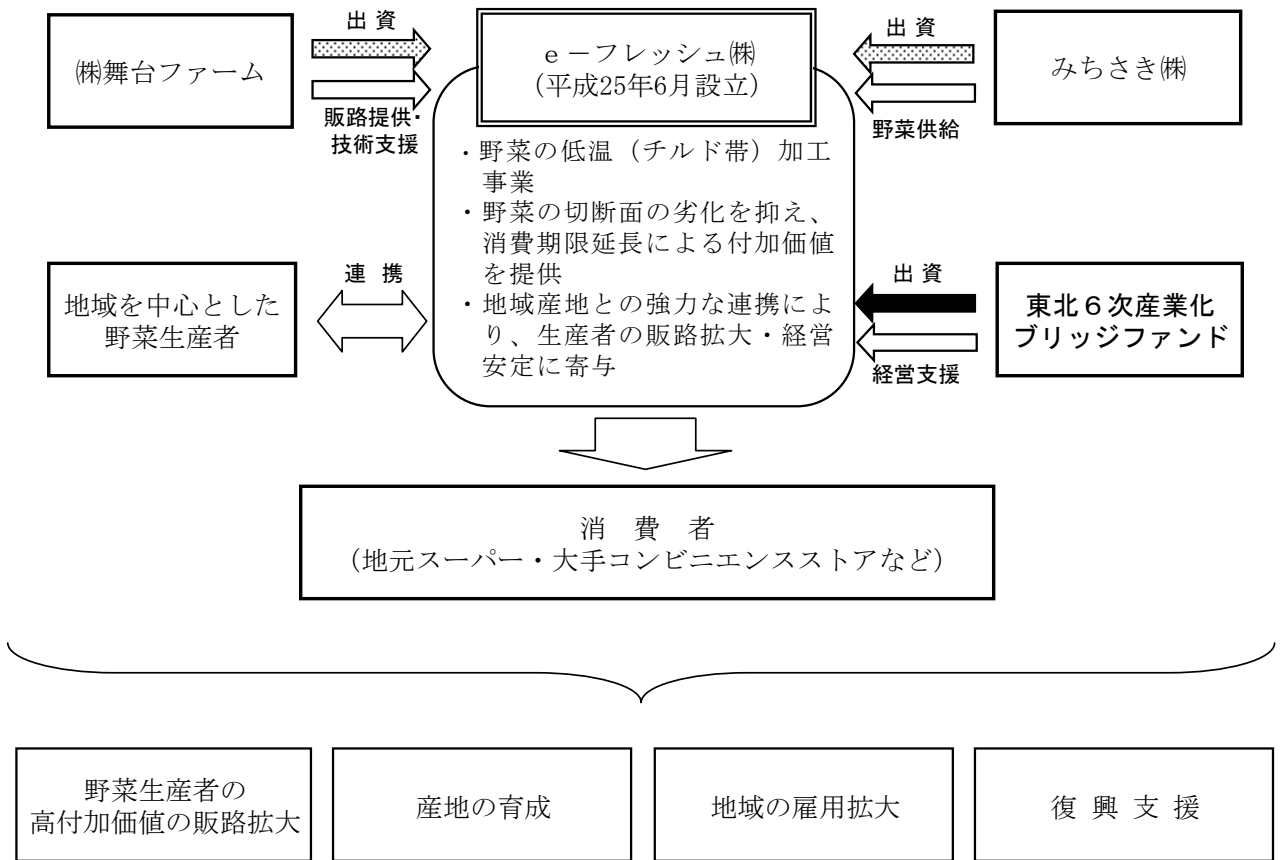
1. 当社概要

- (1) e-フレッシュ株式会社は、地元宮城県で野菜の施設園芸栽培を行うみちさき株式会社の出資により、平成25年6月に設立されました。
- (2) 当社は、地域の産地を中心に調達した野菜を用いて、キャベツの千切りやミックスサラダ等を製造し、パートナー企業である株式会社舞台ファームと協働して、地元スーパーや大手コンビニエンスストアへの販売を計画しています。
- (3) 当社が今回新設する工場では、野菜の切断面の劣化を抑えるために、工程の一部をチルド帯に温度調整された環境下で行うことから、従来の商品に比べて消費期限を延長することが可能になります。これにより、消費者に高付加価値・高品質の商品を届けるとともに、小売業には廃棄ロス削減による効率化を提供します。

2. 出資決定の理由

「東北6次産業化ブリッジファンド」は、当社の取組みが①野菜生産者の高付加価値の販路拡大、②産地の育成、③地域の雇用拡大、④復興支援等につながるものと判断し、出資を決定したものです。

《スキーム図》



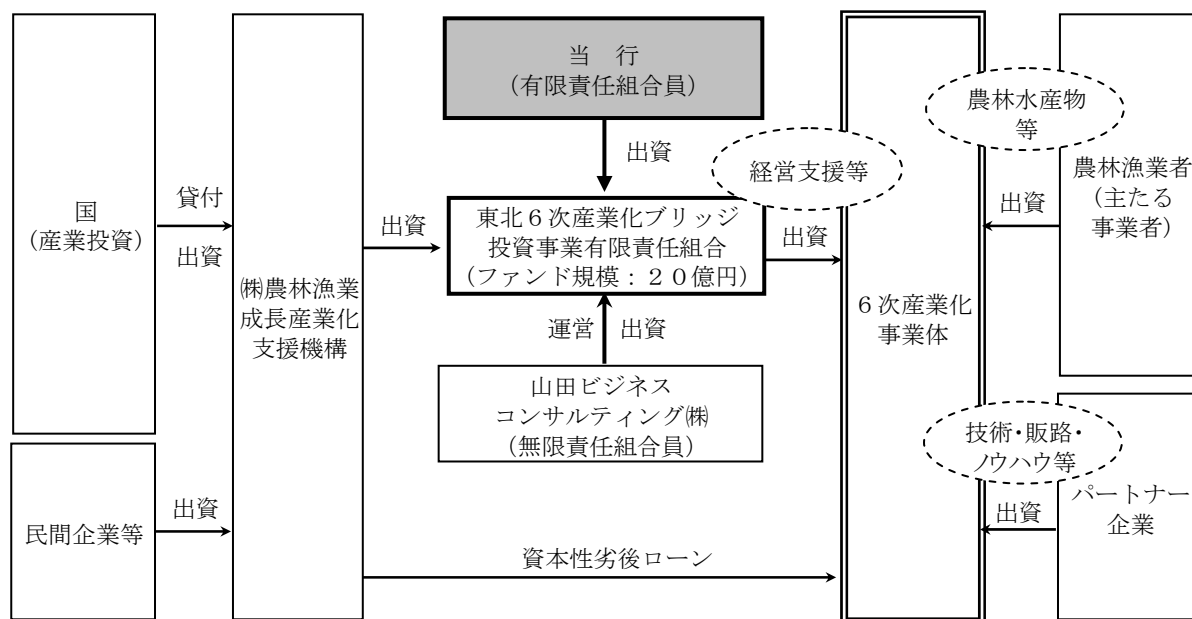
以上

(参 考)

「東北6次産業化ブリッジファンド」の概要

1. ファンド名： 東北6次産業化ブリッジファンド  
(正式名称：東北6次産業化ブリッジ投資事業有限責任組合)
2. 設 立 日： 平成25年4月25日
3. 規 模： 20億円
4. 運 営 会 社： 山田ビジネスコンサルティング株式会社 (無限責任組合員)
5. 出 資 者： 株式会社七十七銀行 (有限責任組合員)  
株式会社農林漁業成長産業化支援機構 (有限責任組合員)
6. 投 資 対 象： 農林漁業者と2次、3次産業の事業者 (パートナー企業) が共同で設立する6次産業化事業体 (合弁事業体) 等に対して投資を行います。

《スキーム図》



以 上